

# 千葉県における非特定汚染源対策の取組状況

(印旛沼流域水循環健全化緊急行動計画書より)

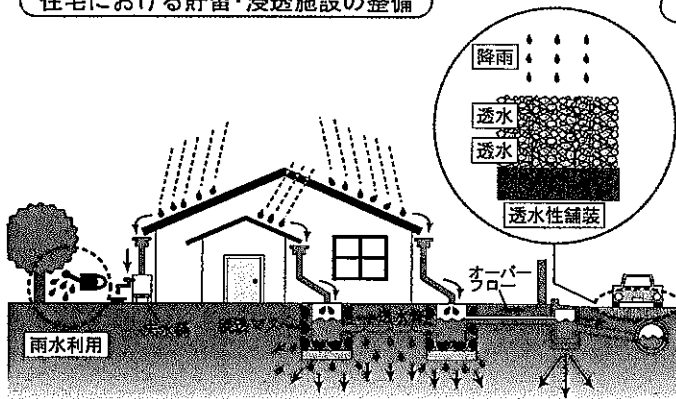
## 雨水を地下に浸透させます

- 雨水を貯め、浸透させる施設を、住宅に設置します。
- 歩道や駐車場など道路を透水性舗装で整備します。
- 流出抑制を目的とした貯留施設<sup>†</sup>（学校校庭など公共施設貯留、雨水調整池など）は、浸透機能を持たせます。

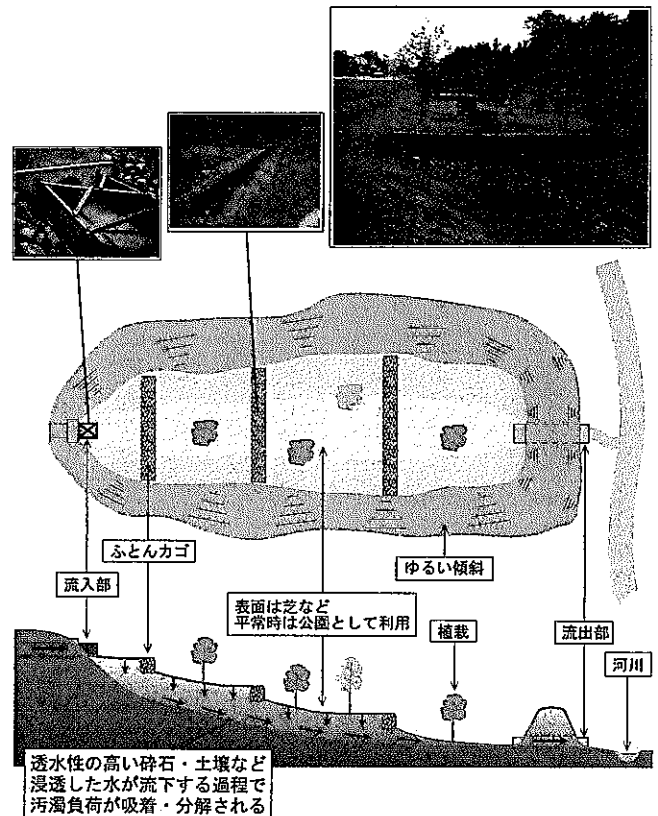


- 湧水が増え、平常時の河川水量が豊かになります。
- 降雨時に市街地の路面などから流出する汚濁負荷（ファーストフラッシュ）が軽減されます。
- 洪水が緩和されます。
- ヒートアイランド<sup>†</sup>現象が緩和されます。

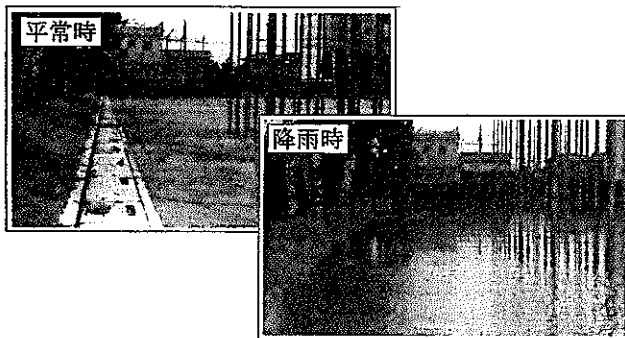
住宅における貯留・浸透施設の整備



浸透・浄化機能を持った雨水調整池<sup>†</sup>



学校校庭を利用した雨水貯留施設<sup>†</sup>



(社) 雨水貯留浸透技術協会パンフレット

主な対策	実施内容 (2003年→2010年)	実施主体
各戸貯留・浸透施設の整備	雨水浸透マスの設置 (8,300基→71,700基) 雨水浸透トレンチの設置 (10,600m→74,000m)	流域住民・企業
雨水浸透施設整備の促進	指導要綱等の策定 指導要綱等に基づく指導、助成制度の充実	市町村・千葉県
透水性舗装の整備	透水性舗装の整備 (6.6万㎡→24.9万㎡)	企業・市町村・千葉県
浸透機能を持った貯留施設の設置	浸透機能を持った学校校庭など公共施設貯留、 雨水調整池などの設置 (9.2万㎡→19.9万㎡※) ※浸透機能を持たない既存調整池等も含む	企業・市町村・千葉県

注) 雨水浸透マス、浸透トレンチ、透水性舗装の数値目標は、過去3年間の実績を引き延ばして設定した数値であり、行動計画を推進していくための努力目標値である。

## 環境にやさしい農業を推進します

- 収量・品質を確保しつつ、土づくり等を通じて、化学肥料の削減を図ります。
- 農薬と化学肥料を従来の半以下にする、ちばエコ農業を推進します。
- 水田で使用した水を印旛沼に入れず再び水田に戻す、循環かんがい施設を整備します。
- 窒素濃度の高い湧水を水田用水として利用し、窒素を削減します。

効果

- 湧水や河川、印旛沼の水質が改善されます。
- 印旛沼にかつていた生き物が復活します。
- 印旛沼流域が消費者にも環境にもやさしい農作物の産地となります。

### ちばエコ農産物

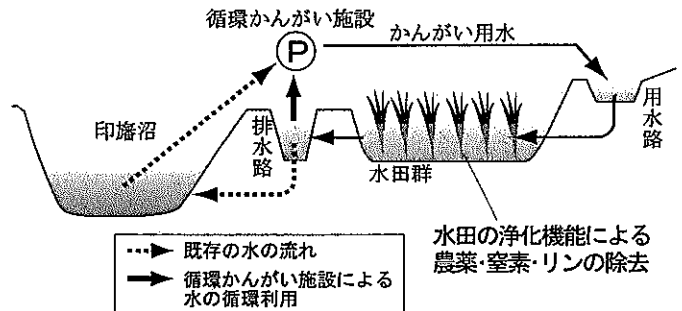
区分	要件	内容
農産物認証制度	栽培	県が定める標準的な技術基準に比べて農薬や化学肥料が2分の1以上低減
	栽培情報公開	栽培に関する履歴の記帳と情報公開
	使用済みプラスチックの適正処理	生産に使用した塩ビ・ポリフィルムなどの適正処理
	生産管理体制整備	生産・出荷・販売及び品質の管理体制の整備
産地指定制度	「ちばエコ農産物」を統一された栽培方法で5ha以上栽培し、かつ産地として管理体制が整備された集落等を指定	

「ちばエコ農産物」(千葉県パンフレット)より



ちばエコ農産物認証マーク

### 循環かんがいによる負荷の削減



### 湧水の水田利用 (佐倉市畔田地区)



主な対策	実施内容 (2003年→2010年)	実施主体
施肥量・農薬削減、 施肥法改善 ちばエコ農業の推進	施肥量・農薬削減・施肥法の改善	流域住民 (農家)
	ちばエコ農産物の優先購入	流域住民 (消費者)
	農薬・化学肥料を半以下に減じた栽培を行う産地の指定 (ちばエコ農業産地)	千葉県
	ちばエコ農業産地等で栽培された農産物の認証 (ちばエコ農産物)	
	ちばエコ農業の支援技術の開発・普及	
	減肥、減農薬に対する助成・エコファーマーの認定	
	農作物施肥基準の改定	市町村
	環境保全型農業の推進	
農家を対象に施肥量、農薬削減の啓発・講習会		
環境保全型農業推進のための啓発活動	印旛沼土地改良区	
湧水の稲作用水への利用の促進	湧水の稲作用水への利用の促進	流域住民 (農家)
循環かんがい施設の整備	農業用排水施設の改修再編 かんがい用水の反復利用の強化	農水省関東農政局

湖沼等の水質保全に取り組んでいる農業者団体の事例（環境保全型農業推進コンクール受賞団体から抽出）

団体名	取組概要
北花沢営農組合 【滋賀県愛知郡湖東町北花沢】	<ul style="list-style-type: none"> <li>琵琶湖の水質保全に対する関心が高い湖東地域にあり、農業系からの負荷削減に集落ぐるみで取り組んでいる。</li> <li>農業排水（濁水）対策として浅水下かき、側条施肥田植機、畦シートの設置により肥料成分の流出を抑えているほか、肥料・農薬の節減に取り組んでいる。</li> </ul>
三方町 【福井県三方郡三方町】	<ul style="list-style-type: none"> <li>町が強力なリーダーシップを発揮し、三方五湖の水質改善に対する町民全員の意識改革を図り、補助事業等を活用して水質浄化を実践している。</li> <li>農業生産面からも肥料・農薬を流出させない取り組みを行っている。特に、湖に人工の筏を浮かべ、アシを植栽し、窒素、リンを吸収させ、それを刈り取り梅園の敷草に利用し、雑草の防止、肥料養分の流出防止と梅園の表土流失防止を確立した独創的な技術を行っている。</li> <li>カントリーエレベーターから排出される籾殻を利用した籾殻堆肥による土づくりを推進している。</li> </ul>
西土佐村環境保全型農業推進協議会 【高知県】	<ul style="list-style-type: none"> <li>四万十川の清流保全のため、生活排水や畜産排水等総合的、長期的な取り組みを織り込んだ「清流保全施策実施計画」を策定・実施している。</li> <li>地域内のモミガラと鶏糞、し尿を原料とした堆肥を製造し土づくりを実施している。</li> </ul>
阿尾地域農業推進協議会 【富山県氷見市】	<ul style="list-style-type: none"> <li>中核農家、営農組織を中心に村ぐるみの減農薬栽培による米生産を行っている。</li> <li>土づくりの拠点施設（堆肥製造、保管）を建設し、中核農家や営農組織による堆肥散布などの土づくりを実践している。</li> <li>河川等への肥料流出防止として、側条施肥田植機や肥効調節型肥料を使用している。</li> <li>また、発生予察に基づいた効果的な防除を実施している。</li> <li>集落の申し合わせにより、水田畦畔の除草を年4回、河川の除草も全市一斉草刈で景観維持に努めている。</li> </ul>
八日市市【滋賀県八日市市】	<ul style="list-style-type: none"> <li>病害虫防除所の病害予察のほか、市独自の予察調査も合わせて防除時期の判断、薬剤を選定し、農薬使用を必要最小限にするきめ細かな防除を実施している。</li> <li>市単独事業で畦畔にカバープランツを栽植し、除草剤の節減と景観づくりに努めている。</li> <li>琵琶湖の水質保全のため、田植期の水田からの濁水の防止、施肥田植機の普及などに取り組んでいる。</li> </ul>
農事組合法人 諏訪市西山地区 のうほう 農豊組合 【長野県諏訪市】	<ul style="list-style-type: none"> <li>諏訪湖の水質保全のため、側条施肥田植機の導入による施肥量の削減、肥料成分のほ場外への流出抑制</li> <li>稲わら腐熟のための微生物資材の活用による保肥性の向上、秋耕起の完全実施での土づくり</li> <li>農薬施用は、苗箱施薬や田植え時の除草剤1回散布に限定する等減農薬を推進</li> </ul>
会津有機米研究会 【福島県耶麻郡猪苗代町】	<ul style="list-style-type: none"> <li>雑草防除は田植え後除草剤を1回散布のみ、畦畔の徹底した刈り払いによる減化学農薬の取組み</li> <li>米穀商から排出される米糖由来の脱脂糠と魚かすによる有機質肥料を考案し、施肥量の90%を活用</li> <li>水田に沿った小排水路をパイプライン化し余分な排水を少なくすることで猪苗代湖の水質保全</li> <li>消費者とのほ場交流会や小学校での米づくり体験学習活動等の啓発活動</li> </ul>

# 湖沼水質保全の体系と非特定汚染源負荷対策

